

「幼児の教育」復刻に思う

当園の園長室の書棚は、古い書がならんでいるが、いずれも、もう得難い書ばかり。その中に一パートを占領しているのがこの初版より現代までの幼児教育の合本である。勿論、見たところは古めかしく綴じもほずれているものもあるが、中は新しいとは言えないが、美しく綺麗に保存されている。

大切な書として、私も若い頃から先輩の先生方から宝物のように言いつたえられ、いじるのもおそれ多いと思つた。時折、他の方が研究のため、記録のためと閲覧にいらつしゃるが、鍵をかけたおそるおそる取出してお見せする。

これが今回復刊された。貴重な資料が鮮明に保存される事はこの上ない重要な事で、ほつと安堵した気持だ。しかし、一つしかない宝物が、復刻版となつた事は、宝物の価値が減少したちよつびり子どものようなへんな気持。

明治初年の幼児教育は、とバラバラと読んでみると、何と根本の幼児の考え方は現在と全然ちがわない事は驚異と感激だった。一〇〇余年の歲月は一瞬にしてちぢまってしまった感じだ。

幼児教育はほんの社会の一部分しか考えられてなかつた明治初年と、幼児教育がこんなに普及された現代と、一貫した幼児に対する考えは、どういふ事なのだろう、人間の進歩は、人間の変化は、人間の発達と社会の変化、時代の変化、進歩との関係はどうなのだろうか。

又、幼児教育の内容は、教育材料は、変化しているだろうか。

私共が小さい時やつた材料が、あの時代から変化した、こんな事やつていたのだ、この点はちつとも変つていない、もつと考えなければ、などなど。

古い宝物の書も復刻されて私共の手元にあると、研究に記録に、現場実践に役に立つものです。

(堀合文子)

幼児の教育 第七十八巻第三号

三月号 © 定価二五〇円

昭和五十四年二月二十五日 印刷

昭和五十四年三月一日 発行

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行人

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いします